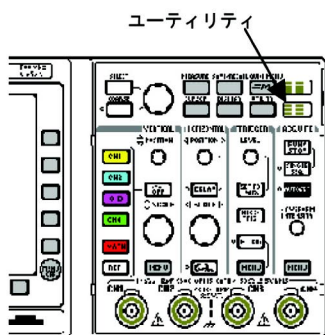


## SPC（自己校正）実行のお勧め

TDS3000Bシリーズには **Signal Path Compensation** (自己校正、以下 SPC と記) 機能があります。この機能を実行すると、その時点で最も高精度な測定が可能になるよう自己校正データを作り直します。前回の SPC 実行時との温度差が約 5°C を越えたり、自己校正データの一部に誤りがあると、診断テストでの異常、トレースのノイズやオフセットなどが発生することがありますが、SPC の再実行で解消することができます。

高精度測定のためには、測定に先立ち SPC の実行をお勧めします。また、修理を依頼される前にも念のため SPC の実行をお願い致します。

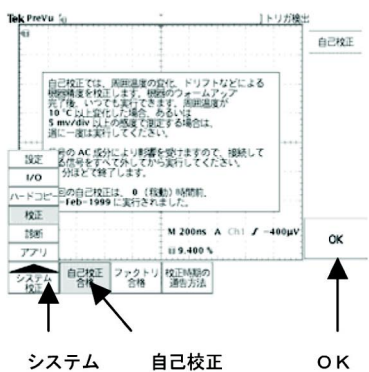
### 操作手順



1. 機器の電源を入れ、20 分間のウォームアップを行います。
2. 入力チャンネルに接続されているすべての信号を取り外します。

### 注意

手順 3 および 4 を実行中は、SPC が完了するまで、機器の電源を切らないでください。電源を切ると、校正データが無効になってしまいます。このようなときは、もう一度 SPC を実行して下さい。



3. 次の順序で各ボタンを押します。  
**ユーティリティ(UTILITY)→システム→ポップアップ・メニューから校正を選択→自己校正→OK**
4. 自己校正は約 10 分で完了します。SPC 実行中は、クロックアイコンがスクリーンに表示されます。SPC が完了すると自己校正メニュー内に合格または不合格の文字が表示されます。\*
5. **自己校正**メニュー項目内に合格が表示されていることを確認します。
6. **MENU OFF** ボタンを押してユーティリティメニューを終了します。機器は SPC 実行前に設定されていた状態に戻ります。

\* 不合格が表示された場合は、当社営業所までご連絡ください。

### ⚠ 液晶ディスプレイ・パネルについて

管面上にごくわずかですが、常時点灯している輝点や滅点がある場合があります。液晶ディスプレイパネルは非常に高精密な技術で作成されていますが、一部に表示不良画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので予めご了承ください。